

## 令和2年度上期認定分 ましこ世間遺産一覧

No.	世間遺産の名称	申請団体	場所
51	<small>ひ え じんじゃほんでん</small> 日枝神社本殿	日枝神社氏子総代会	大字七井
52	<small>やくもじんじやなつまつ</small> 八雲神社夏祭り	八雲神社氏子総代会	大字七井

## 認定No.51 日枝神社本殿

申請団体 日枝神社氏子総代会

日枝神社は神護景雲2年(768年)の  
創建で、やじまごうそうちんじゆ矢嶋郷総鎮守として崇められ、  
山王神社、山王権現ともいわれている。

一時荒廃したが、ちょうきゅう長久元年(1040年)

にぎょうぶだゆうよりはる矢嶋城主七井刑部太夫頼治、建保4

年(1216年)にいわまつしんろくろうつなもち岩松新六郎綱持によって再建された。

現在の本殿は、享保4年に地元氏子の寄付によって再建されたもので、間口5.5メートル、奥行き3.5メートルのいっけんしゃながれづく一間社流造り茅葺きで、花鳥の彫刻を施しており江戸時代中期の様式を伝える建物である。平成4年には、益子町文化財に指定され、現在までに幾度か修復が行われている。



## 認定No.52 八雲神社夏祭り

申請団体 八雲神社氏子総代会

毎年7月海の日前2日間で、神輿御渡、山車巡行、茅の輪くぐりを行う祇園祭である。

起源については定かではないが、平成27年の神輿新調の際に内部より見つかった木札によると、寛政10年(1798年)6月に七井村に奉遷、文政9年(1827年)11月23日に神輿を日光塗師が塗替修復、明治26年(1894年)8月12日に神輿を宇都宮塗師が塗替修復したとされている。



このことから、220年以上前より地域で愛され継承されてきた夏祭りであると推測される。